



三重県 三重県漁業協同組合連合会

『ICTを活用し養殖する伊勢ぶり、伊勢まだいを世界へ』

【主な品目】

ブリ、マダイ

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、タイ、東南アジア諸国等

【輸出取組の概要】

- ◆ 国内の水産物消費の減少とアジア諸国を中心とする経済成長に伴い輸出を開始。
- ◆ FOOD EX JAPAN 2024や“日本の食品”輸出 EXPO、香港フードEXPOなどに出展。
- ◆ 海外のニーズに対応するため、MEL認証※やハラール認証を取得。また、三浦活魚流通センターにおいてはFSSC22000とベトナム輸出向け施設登録を取得。
- ◆ 令和6年12月にフラッグシップ輸出産地として農林水産大臣認定。

【輸出実績】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	651,000	通年
令和4年度	146,000	

【取り組む際に生じた課題】

- ・少子高齢化等により、労働力の減少。
- ・一部の国や地域では、価格競争が激化。

【生じた課題への対応】

- ・安定生産・増産体制の構築と作業の効率化を目的として、養殖現場にICT機器(漁場環境観測ブイ等)を導入し、水温や給餌量などのデータ管理をシステム化。
- ・香港、ベトナム、タイ等へ販路を拡大するため、国内外の展示会出展及び海外バイヤー向け視察ツアー実施により、商談を推進。

【取組の効果】

- ・漁場環境に関するデータを共有、検証しやすくしたことで、今後の技術継承、事業拡大に寄与。
- ・輸出先国の拡大により、輸出実績が増加。

【今後の展望】

- ・「伊勢ぶり」、「伊勢まだい」ブランドの付加価値向上。
- ・輸出向け養殖漁場の拡大と販路開拓。

※MEL認証:(一社)マリン・エコラベル・ジャパン協議会が運営する認証スキーム。



養殖ブリ



ブリの生簀